

伊豆シャボテン動物公園

豪華な 2 メートル級の羽を広げる
インドクジャクのプロポーズが最盛期に!2022 年 3 月 23 日
株式会社伊豆シャボテン公園

インドクジャク

【英名】 Indian Pea-fowl

【学名】 *Pavo cristatus*

【分類】 キジ目キジ科

【分布】 インド、スリランカの
草原に生息

インドクジャクは、インドやスリランカ、ネパールなどの草原や落葉樹林に生息し、田畑や人家の近くでも見ることができます。昼行性で、昼の間は穀類・木の芽・草の葉・木の実・昆虫などを盛んに食べ、夜間は孵化したばかりの雛たちも親鳥とともに樹上で就寝します。

クジャクの雄は、自分のテリトリーを決めるとそこで雌の来るのを待ち、美しい飾り羽を広げて求愛行動をします。目玉模様の飾り羽は上尾筒(じょうびとう)と呼ばれ、150 本ほどあり、前年の秋頃から伸び始めて繁殖期の始まる 2 月頃には生え揃います。当園のクジャクは 3 月頃から 7 月頃に繁殖期を迎え、飾り羽を広げて求愛行動をするとともに他の雄に対してはテリトリーを護る行動をします。上尾筒は、繁殖期の終わる 7 月下旬から 8 月には全て抜け落ち、テリトリー争いも終了します。

雌は 1 度に 4 から 7 個の卵を産み、抱卵期間約 28 日で孵化します。雛は 3 年目で成鳥となり、雄にはりっぱな飾り羽が伸びます。

伊豆シャボテン動物公園では、放し飼いのクジャクたちが「ディスプレイ」と呼ばれる求愛行動を始め、雄が美しい飾り羽を広げて雌にプロポーズしている姿を園内のあちらこちらでみることができます。求愛行動が最も盛んに見られるのは 4 月下旬で 7 月初旬頃まで続き、早ければ 6 月頃にはかわいい雛が誕生します。

当園のクジャクは 1961 年より園内で放し飼いされ、現在、園全体で 50 羽(オス 20 羽、メス 30 羽)が生息しております。クジャクの「ディスプレイ」は、雄雌が各餌場に集まる給餌の時間(開園～9 時 30 頃までと、15 時 30 分～16 時 30 分頃)に見られる確率が高くなります。また、日差しの強い日中は木陰で休むことが多く、めったに羽を広げません。また、風のある日は上尾筒(飾り羽)を痛めてしまうため、羽を広げることはありません。

お問い合わせ先：株式会社伊豆シャボテン公園 企画広報部
TEL：0557-51-1115 (代) URL：<https://shaboten.co.jp/>
〒413-0231 静岡県伊東市富戸 1085-4

